

July 22, 2009：開田高原。木曾馬の里：乗馬コース脇で小さなブルーのシジミチョウが飛ぶので近づくと、ヒメシジミの♂が小岩の上でしぶいブルーを輝かせて羽を広げている。前翅右端が少し欠けた個体だがそれなりにきれいな開翅状態をビデオ記録し、ひらりと飛んだあとも、すぐ近くに咲く黄色い花へと移動して求蜜しはじめるので、じっくりとビデオ撮影をする。次いで翅裏にオレンジ色がめだつことですぐに♂ではないとわかる♀が同じ花にやってくる。新鮮度はひくい個体だが、翅表を開いてみせてくれると褐色の地色に濃いオレンジ紋が映えてき



れいだ。畑地周辺にシロツメクサが茂る一角で、ほとんどは新鮮度が落ちていたがヒメシジミが飛び交っている。♀個体が多い。突然カラスシジミもあらわれてシロツメクサの蜜を

吸い始めるので、急ぎビデオカメラで狙うも、あっというまのことで遠く飛び去られる。ヒメジョオンの花にキバネセセリがやってくるが、この個体もシャッターチャンスを与えずに飛び去ってしまう。そこにヒメシジミには大きなブルーのシジミチョウが飛び出して来る。この大きさはミヤマシジミだろうか。柵で囲われた草むらの方へと向かったかと思えば、ぬかるみの残る砂利道側へともどってくる忙しい飛翔で、少しもとまる気配がない。種の確認もしたいのでネット一振、この大型の青いシジミチョウをしとめる。羽まわりの白い鱗毛がそろった新鮮なヒメシジミの♂だ。こんなに大きいヒメシジミには出会ったことがなく、記念の標本として残すため比較的きれいなメスも1頭だけ捕獲して三角紙におさめる。



July 22, 2010：白馬五竜。恒例となった親類3家族での信州ドライブ旅行で白馬五竜のテレキャビンというゴンドラを利用して青いケシも咲いているという高山植物園のある涼しい高原を訪問。高山植物園はゴンドラ終着点一帯、さらに上へと登れるリフト乗り場までの遊歩道沿にも展開していて、新鮮なヒメシジミがあちこちに飛び交い、コヒョウモンも混じる。しばらくこれらチョウの撮影を楽しむ。リフト利用で終着点まで登り、散策路をさらに上るとキアゲハが多く飛び、シモツケソウが多いあたりでフタスジチョウもみる。山腹を巻いて下る遊歩道沿いで新鮮なヒメシジミ(写真中央)に出会い夢中で撮影する。再び植物園を散策して、青いヒマ



ラヤケシやコマクサを鑑賞する。